

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月22日

上場取引所 東

上場会社名 モーニングスター

コード番号 4765 URL <http://www.morningstar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小川 和久

TEL 03-6229-0810

四半期報告書提出予定日 平成25年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け 当社ウェブサイト動画掲載予定

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	980	70.0	283	76.1	306	66.2	180	59.0
25年3月期第1四半期	576	2.9	161	4.3	184	2.0	113	9.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 188百万円 (66.3%) 25年3月期第1四半期 113百万円 (9.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	2.19	—
25年3月期第1四半期	1.38	—

当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定し、上記に記載しております。26年3月期第1四半期および25年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
26年3月期第1四半期	8,012		7,612		95.0	92.56
25年3月期	8,363		7,801		92.1	93.63

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 7,593百万円 25年3月期 7,700百万円

当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産金額を算定し、上記に記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.33	3.33
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金額を算定し、上記に記載しております。分割前の1株あたり期末配当金額は、1株1,000円であります。26年3月期の期末における配当予想額は現時点で未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想につきましては、現時点では合理的な見通しを立てることが困難なため、未定であります。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更
有形固定資産の減価償却方法の変更

当社グループは、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について、従来、定率法(ただし、一部の海外連結子会社は定額法)を採用していましたが、親会社の連結決算上の会計処理と統一するため、当第1四半期連結会計期間から定額法に変更しております。これらの変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	83,973,600 株	25年3月期	82,238,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,735,200 株	25年3月期	1,735,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	82,238,400 株	25年3月期1Q	82,209,300 株

当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数、期中平均株式数(四半期累計)を算定し、上記に記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

26年3月期期末の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。業績予想につきましては、今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー関係)	8
(株主資本等関係)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	11
(重要な後発情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において、当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）の連結業績は、売上高が前年同四半期（平成24年4月1日～平成24年6月30日）の576百万円から403百万円（70.0%）の増収となる980百万円となりました。

また、売上原価は、前年同四半期の290百万円から185百万円（63.7%）増加し476百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同四半期の124百万円から95百万円（76.8%）増加し220百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期の161百万円から122百万円（76.1%）の増益となる283百万円となりました。

営業外損益は、前年同四半期と比べ、変動は少なく、当第1四半期連結累計期間の経常利益は、前年同四半期の184百万円から122百万円（66.2%）の増益となる306百万円となりました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同四半期の113百万円から66百万円（59.0%）の増益となる180百万円となりました。

当社は、平成24年10月12日に、SBIサーチナ株式会社およびSBIアセットマネジメント株式会社の株式を取得し、各々の子会社を含め、4社を新たに子会社といたしました。

前年同四半期と比べ、新規連結子会社の業績が加わり、比較的利益率の高いメディア・ソリューションが、大幅な増収となったことが、増益の主な要因となっております。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第1四半期連結累計期間 平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで		当第1四半期連結累計期間 平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
サービス別売上高					
ファイナンシャル・サービス事業					
コンサルティング	154,426	26.8	171,781	17.5	11.2
データ・ソリューション	309,065	53.6	370,939	37.8	20.0
メディア・ソリューション	74,464	12.9	193,375	19.7	159.7
計	537,956	93.3	736,096	75.1	36.8
アセットマネジメント事業					
アセットマネジメント	38,895	6.7	244,658	24.9	529.0
計	38,895	6.7	244,658	24.9	529.0
連結売上高	576,851	100.0	980,755	100.0	70.0

1) ファイナンシャル・サービス事業

・コンサルティング

セミナー関連の売上が順調に推移し、確定拠出年金関連の売上も増加いたしました。また、上海サーチナ（新秦商務諮詢（上海）有限公司）のリサーチ事業の売上が加わりました。その結果、コンサルティングの売上高は、前年同四半期の154百万円から171百万円（11.2%）の増収となる171百万円となりました。

・データ・ソリューション

ファンドデータやレポートの売上が増加し、SBIサーチナ株式会社の中国市場情報などのデータ提供売上が加わりました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同四半期の309百万円から370百万円（20.0%）の増収となる370百万円となりました。

・メディア・ソリューション

資産運用関連のウェブ広告が大幅に増加いたしました。また、SBIサーチナ株式会社のウェブ広告などが加わりました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期の74百万円から118百万円（159.7%）の増収となる118百万円となりました。

2) アセットマネジメント事業

・アセットマネジメント

SBIアセットマネジメント株式会社の投資委託者報酬などが加わり、アセットマネジメントの売上高は、前年同四半期の38百万円から205百万円(529.0%)の増収となる244百万円となりました。

セグメント別には、ファイナンシャル・サービス事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の537百万円から198百万円(36.8%)の増収となる736百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の142百万円から104百万円(73.4%)の増益となる246百万円となりました。

アセットマネジメント事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の38百万円から205百万円(529.0%)の増収となる244百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の19百万円から18百万円(95.9%)の増益となる37百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は前連結会計年度末と比較して350百万円減少し、8,012百万円となりました。

これは主として、流動資産が前連結会計年度末と比較して465百万円減少し、6,499百万円となった一方、固定資産が前連結会計年度末と比較して114百万円増加したことによるものであります。

流動資産の減少は、主として配当金の支払を274百万円行なったこと、法人税等の支払を220百万円行なったことなどにより、現金及び預金が461百万円減少したことによるものであります。

固定資産の増加は、主として子会社SBIサーチナ株式会社の株式を追加取得し、同社を完全子会社としたことに伴い、のれんが128百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して162百万円減少し、399百万円となりました。

負債の減少は、主として法人税等の支払のタイミングにより、未払法人税等が103百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結累計期間に180百万円の四半期純利益が計上され、274百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が93百万円減少いたしました。

また、子会社SBIサーチナ株式会社を完全子会社としたことに伴い、少数株主持分が100百万円減少いたしました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して188百万円減少し、7,612百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場において、その動向を当期を通じて、想定するのは難しく、当社グループの業績を、現時点では合理的な算定を行なうことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

4. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)に記載のとおりであります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,100,150	1,638,886
売掛金	507,885	480,519
有価証券	4,279,315	4,279,326
たな卸資産	※1 5,278	※1 8,700
繰延税金資産	23,256	11,521
その他	49,480	80,801
貸倒引当金	△85	—
流動資産合計	6,965,282	6,499,755
固定資産		
有形固定資産	※2 32,169	※2 32,627
無形固定資産		
のれん	862,919	978,516
ソフトウェア	174,691	167,915
その他	19,706	35,316
無形固定資産合計	1,057,317	1,181,748
投資その他の資産		
投資有価証券	67,143	57,536
繰延税金資産	4,548	6,344
その他	236,159	233,801
投資その他の資産合計	307,852	297,681
固定資産合計	1,397,338	1,512,057
繰延資産		
株式交付費	610	458
繰延資産合計	610	458
資産合計	8,363,231	8,012,271

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	73,087	46,171
未払金	188,197	156,496
未払法人税等	220,893	117,173
未払消費税等	30,267	25,720
その他	47,642	52,272
流動負債合計	560,088	397,834
固定負債		
リース債務	2,058	1,896
固定負債合計	2,058	1,896
負債合計	562,146	399,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,620	2,115,620
資本剰余金	3,231,322	3,231,322
利益剰余金	2,518,463	2,424,639
自己株式	△178,447	△178,447
株主資本合計	7,686,959	7,593,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,390	11,910
為替換算調整勘定	1,900	7,049
その他の包括利益累計額合計	13,290	18,959
少数株主持分	100,834	445
純資産合計	7,801,085	7,612,540
負債純資産合計	8,363,231	8,012,271

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	576,851	980,755
売上原価	290,899	476,279
売上総利益	285,952	504,475
販売費及び一般管理費	※1 124,915	※1 220,888
営業利益	161,037	283,587
営業外収益		
受取利息	23,234	21,124
受取配当金	10	—
為替差益	58	—
その他	834	2,110
営業外収益合計	24,138	23,235
営業外費用		
支払利息	—	27
為替差損	—	100
株式交付費	152	152
自己株式取得費用	289	—
その他	441	209
営業外費用合計	884	490
経常利益	184,291	306,331
税金等調整前四半期純利益	184,291	306,331
法人税、住民税及び事業税	61,165	113,208
法人税等調整額	9,749	10,266
法人税等合計	70,914	123,475
少数株主損益調整前四半期純利益	113,376	182,856
少数株主利益	—	2,552
四半期純利益	113,376	180,303

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	113,376	182,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	519
為替換算調整勘定	—	5,149
その他の包括利益合計	9	5,668
四半期包括利益	113,386	188,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,386	186,353
少数株主に係る四半期包括利益	—	2,172

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社グループは、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、従来、定率法(ただし、一部の海外連結子会社は定額法)を採用していましたが、親会社の連結決算上の会計処理と統一するため、当第1四半期連結会計期間から定額法に変更しております。

これらの変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
仕掛品	159千円	3,761千円
貯蔵品	5,119	4,938

※2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
	217,788千円	218,714千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
従業員給与	32,594千円	73,996千円

(四半期連結キャッシュフロー関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	25,581千円	22,501千円
のれんの償却額	1,842	12,642

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年5月22日 取締役会	普通株式	利益剰余金	246,887	900	平成24年3月31日	平成24年6月1日

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年5月23日 取締役会	普通株式	利益剰余金	274,128	1,000	平成25年3月31日	平成25年6月3日

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(報告セグメントの区分方法の変更)

当社は、平成24年10月12日に、SBIサーチナ株式会社SBIアセットマネジメント株式会社の株式を取得し、子会社といたしました。

当社グループは、従来、情報を収集し、蓄積した情報を比較・分析・評価、加工して顧客に提供、コンサルティングなどを行っており、従来、報告セグメントは、その対象分野を金融情報とウェブサイトとに区分し、この区分により、「金融情報評価・情報提供・コンサルティング」と「ウェブ・コンサルティング」の2つに分けておりました。

SBIアセットマネジメント株式会社を子会社としたことにより、従来と異なる、かつ、新たな事業領域として、金融商品取引法に基づく投資信託の設定、募集、運用などの投資運用業務を行うこととなりました。

そのため、平成25年3月期第3四半期連結会計期間より、従来より行っていた、金融、ウェブサイトなどの情報を収集し、蓄積した情報を比較・分析・評価、加工して顧客に提供、コンサルティングなどを行なう事業を「ファイナンシャル・サービス事業」とし、新たな事業領域である金融商品取引法に基づき投資信託の設定、募集、運用などの投資運用や投資助言などを行う事業を「アセットマネジメント事業」として、報告セグメントを区分することといたしました。

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	537,956	38,895	576,851	—	576,851
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,000	—	15,000	△15,000	—
計	552,956	38,895	591,851	△15,000	576,851
セグメント利益	142,043	19,029	161,072	△35	161,037

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	736,096	244,658	980,755	—	980,755
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,306	—	6,306	△6,306	—
計	742,402	244,658	987,061	△6,306	980,755
セグメント利益	246,306	37,280	283,587	—	283,587

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する項)

(単位:千円)

売上高	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	591,851	987,061
セグメント間取引消去	△15,000	△6,306
四半期連結損益計算書の売上高	576,851	980,755

(単位:千円)

利益	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	161,072	283,587
セグメント間取引消去	△35	—
四半期連結損益計算書の営業利益	161,037	283,587

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

平成25年5月24日に、子会社SBIサーチナ株式会社の株式を追加取得し、完全子会社といたしました。それに伴い、のれんを128,239千円計上いたしました。当該のれんの報告セグメントは、ファイナンシャル・サービス事業であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	1円38銭	2円19銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	113,376	180,303
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	113,376	180,303
普通株式の期中平均株式数(株)	82,209,300	82,238,400
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
(うち、子会社の発行する潜在株式による四半期純利益調整額)(千円)		
普通株式増加数(株)		
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものではありません。		

(注) 当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。